



山本さんを一言でいうと「頑張り過ぎるほどの頑張り屋」です。どんな知識を吸収して、実習中は同じ質問をほとんど繰り返しませんでした。彼女のようには、働くことに前向きな方たちが「働く機会に恵まれない」「埋もれている」というのは、本人の生き方にとっても、社会にとっても、とてももったいないことだと思えます。もっともっと、やる気のある方を生かせる社会になればいいですね。

### ジョブコーチから

山本さんと同じ障がい福祉課で働く石射さん



### 働く仲間から

障がいのある方とお仕事をする上で、コミュニケーションについての不安の声を聞くことがあります。私がお互いの存在を意識し合うことが良い環境を作り出すのではと思っています。山本さんが自ら積極的に周囲に声掛けをしてくれることで、同僚も「これお願いできる?」と気軽に声を掛けられる環境ができ、お互いにコミュニケーションをとる関係が築けています。山本さんのどんな仕事でも真剣に取り組む姿勢は、こちらが見習わなければならないほど。

## 障がい者雇用の現状と市の取り組み

障害者雇用促進法では、従業員が50人以上の民間企業に対し労働者数の2%の障がい者を雇用することが義務付けられています。しかし、労働者全体に占める障がい者の割合はまだ低いのが現状です。

### 障がい者雇用状況(平成28年度)

	実雇用率 (目標値 2.0%)	達成企業 割合
全国	1.92%	48.8%
神奈川県	1.87%	46.7%

## 「ともに働く」社会を目指して

障がいのある方の得意なところ、不得意なところを考慮して、それを生かせる環境づくりが大切です。得意なところ、不得意なところがあるのは健常者も同じこと。「できない」で済ませるのではなく、苦手なところを補うにはどう支援したらよいか、支援の方法を工夫することが必要です。「ともに働く」社会を目指し、だれもが生き生きと仕事ができる環境を実現できるように、障がいに対するご理解とご協力をお願いします。



た。職場の雰囲気を感じながら働く体験ができたことは、大きな経験となりました。障がいのある方とお仕事をする上で、コミュニケーションについての不安の声を聞くことがあります。私がお互いの存在を意識し合うことが良い環境を作り出すのではと思っています。山本さんが自ら積極的に周囲に声掛けをしてくれることで、同僚も「これお願いできる?」と気軽に声を掛けられる環境ができ、お互いにコミュニケーションをとる関係が築けています。山本さんのどんな仕事でも真剣に取り組む姿勢は、こちらが見習わなければならないほど。

### 現在の仕事内容は?

就労チャレンジを受けた後、市役所の臨時職員として働く機会に恵まれました。現在は障がい福祉課で郵便物の対応や印刷業務、パソコンの入力作業などを行っています。福祉タクシー券を2000枚くらい処理する時もあるんですよ。仕事は大変ですが、少しずつ頑張っています。私は、口頭より紙での指示のほうが理解しやすいので、繰り返し行う業務は、紙でもらうようにお願いしています。もらったお給料でときどき自分へのご褒美として好きな声優さんのCDを買ったりするんです。やってよかったというか、達成感を感じる瞬間です。

### 将来の目標は?

いつか1人暮らしができたらいいなと思うっています。何年後になるかは分かりませんが、仕事を続けて貯金して、いつか自立したいと思っています。

# 障がいのある方の働きたいを応援します

12月3日、9日は障害者週間

障がい福祉課 ☎(235)4813

障がいのある方の「働きたい」を応援するため、市は「障がい者就労チャレンジ事業(4頁)や「障がい者雇用促進奨励補助制度(5頁)などさまざまな支援を行っています。ジョブコーチと呼ばれる指導員のサポートのもと、市役所や民間企業で職場体験をし、就労に必要な基礎力をつけることを目指す「就労チャレンジ事業」。この事業(ことし4月から実際に市役所の臨時職員として働いている軽度の知的障がいのある山本さんに話を聞くとともに、働く側と雇用側の支援制度を紹介します。

## 就労チャレンジ卒業生に聞きました

### 制度を受けた経緯と感想は?

就労移行支援事業所「SELP ビナ」で働いていたときに募集を知りました。制度の内容を聞いて、「一般企業で働く体験はなかなかできない」と思い申し込みました。民間企業の実習では、段ボールに緩衝材を詰める作業などを、市役所では郵便物に收受印を押す業務や、パソコン作業などを、ジョブコーチのサポートを受けながら行いました。



### 山本未来さん

息抜きは休みの日に友達とカラオケに行くこと。お兄さんの影響でアニメソングも歌ってます。